

2. 業務の実施体制

この重点的調査観測は、東京大学地震研究所、首都大学東京、地震予知総合研究振興会、東京工業大学の4機関が体制を構築し、関係する研究機関（者）の参加・協力を得て実施する。調査観測代表機関は、東京大学地震研究所（研究代表者：佐藤 比呂志）とする。

また、研究を効果的に実施するために、上記4機関に加えて関係する研究機関（者）等により構成する「立川断層帯における重点的調査観測 運営委員会」（事務局は東京大学地震研究所）を設置する。

調 査 観 測 項 目	担 当 機 関	担 当 責 任 者
1. 断層帯の三次元的形状・断層帯周辺の地殻構造解明のための調査観測		
1. 1. 制御震源地震探査等による断層形状の解明	国立大学法人東京大学地震研究所	佐藤 比呂志
1. 2. 自然地震観測に基づく断層周辺の広域的3次元構造調査	国立大学法人東京大学地震研究所	酒井 慎一
2. 断層帯の詳細位置・形状および断層活動履歴・平均変位速度の解明のための調査観測		
2. 1. 断層帯の詳細位置・形状等および断層活動履歴・平均変位速度の解明	国立大学法人東京大学地震研究所	石山 達也
2. 2. 断層帯の平均変位速度・累積変位量の解明のための高精度火山灰編年調査	公立大学法人首都大学東京	鈴木 毅彦
2. 3. 史料地震学による断層帯周辺の被害地震の解明	公益財団法人地震予知総合研究振興会	松浦 律子
3. 断層帯周辺における地震動予測の高度化のための研究	国立大学法人東京工業大学	山中 浩明